

平成30年度 第3回蓮田市都市計画審議会会議録

招 集 日	平成31年1月24日（木曜日）	
開催場所	蓮田市役所 3階 304会議室	
開催日時	開会 平成31年1月24日（木）午前9時30分 閉会 平成31年1月24日（木）午前11時30分	
出席状況	会 長 奥 沢 信 男	出席 ・ 欠席
	副会長 本 澤 秀 一	出席 ・ 欠席
	委 員 石 井 文 枝	出席 ・ 欠席
	委 員 大 沢 昌 玄	出席 ・ 欠席
	委 員 門 井 隆	出席 ・ 欠席
	委 員 近 藤 純 枝	出席 ・ 欠席
	委 員 田部井 稷 人	出席 ・ 欠席
	委 員 藤 村 茂 樹	出席 ・ 欠席
	委 員 中 里 幸 一	出席 ・ 欠席
	委 員 齋 藤 昌 司	出席 ・ 欠席
出席職員	蓮田市長 中野 和信 都市整備部長 関根 守男 都市計画課長 金子 克明 都市計画課 副主幹 塚本 孝 " 主事 石垣 翔太	西口再開発課次長兼課長 熊谷 浩
傍 聴 者	0名	
1 開会	<p>（金子都市計画課長）</p> <p>本日は、委員の皆様におかれましては、お忙しい中、また早朝より御出席いただきまして誠にありがとうございます。また本年もよろしくお願ひいたします。</p> <p>ただ今から、平成30年度第3回蓮田市都市計画審議会を開会させていただきます。</p> <p>私は、本日の司会を務めさせていただきます都市計画課の金子と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>さて、本日の議事は、2点あります。</p> <p>1点目は、昨年12月25日開催いたしました審議会に引き続きまして、蓮田市社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）評価委員会として御審議いただきます諮問事項といたしまして、社会資本整備総合交付金事業に係る事後評価についてでございます。対象地区については、蓮田市中心市街地地区と蓮田市閩戸貝塚周辺地区の2地区です。</p> <p>2点目は、蓮田市都市計画審議会として報告いたします蓮田都市計画蓮田駅西口第一種市街地再開発事業に係る報告事項でございます。前回資料は配布さ</p>	

<p>2 会長挨拶</p>	<p>せていただきましたが、今回は担当である西口再開発課から説明をさせていただき予定となっております。</p> <p>それでは奥沢会長より御挨拶をお願い申し上げます。</p> <p>(奥沢会長)</p> <p>皆さん、おはようございます。平成最後の年に入りましたけれども、委員の皆様には本日全員の方が出席いただきまして誠にありがとうございます。本年もよろしくお願いいいたします。</p> <p>本日の議題は、先ほど説明がありましたけれども、前回に引き続きまして、社会資本整備総合交付金事業の事後評価についてですが、本日は答申を成案としたいと思っておりますのでよろしくお願いいいたします。</p> <p>その後、報告事項として、再開発事業についての説明がありますが、今日は西口再開発課から説明をしていただけるということで、細かいお話なども聞くことができると思います。</p> <p>それから諮問事項である交付金については、中心市街地地区と閩戸貝塚周辺地区ですけれども、皆さん御案内のように中心市街地地区は蓮田市の中心、顔となる地区でございます。閩戸貝塚周辺地区もパルシー、ハストピアを中心に文化、交流拠点でございます。蓮田市は、いくつかの魅力ある拠点、たとえば、市役所周辺地区とか魅力ある拠点を整備して、うまく公共交通網でネットワークをつないで、いろいろと進めていくのだと思います。これからもこういった計画に沿って着実に事業を進めていただきたいと思います。どうぞ本日もよろしくお願いいいたします。</p> <p>(金子都市計画課長)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、中野和信蓮田市長から御挨拶を申し上げます。</p>
<p>3 市長挨拶</p>	<p>(蓮田市長 中野 和信)</p> <p>皆さん、おはようございます。</p> <p>今、インフルエンザ等々流行っておりますけれども、皆様お忙しいなか、全員の方に御参加いただきまして、都市計画審議会を開催することができ、心より感謝しております。</p> <p>ただ今奥沢会長さんからお話がありまして、とても意味あるお話でございましたが、御承知の通り第5次総合振興計画が今年度から10年間でスタートいたしました。</p> <p>この際にも奥沢会長さんは総合計画審議委員の審議委員でいらっしやいまして、同様な御意見をいただきました。</p> <p>今までは、1点中心といいますが、一か所集中でまちづくりを進めておりましたが、今、少し落ち着いた世の中になってきてまして、これからは少子高齢化がますます進んでまいります。財政的にも厳しい時代を迎えております。1点中心があって、更に、バランスよくサブの点と点があって、蓮田市全体がグレードアップするまちづくりが必要です。市民の皆様が満足できるような計画にすべきだと審議会の中でも御提案いただきました。</p> <p>この考え方を受けて、市役所周辺では、来年までに黒浜貝塚の整備が終わりますし、川島で東日本高速道路株式会社が建設している新サービスエリアは早期オープンを目指し、急ピッチで工事が進められていると伺っています。我々が造るスマートインターチェンジは、国土交通省の予算の関係で、少し伸びてしまうのですが、着実に協議が進められています。</p> <p>もう少し東の方へ行きますと、黒浜の東埼玉病院を中心とした道路整備を進</p>

めているのですが、黒浜公園、蓮田松韻高校、あの周辺が大規模にこの総合振興計画の中で整備される予定地です。もう少し中閨戸のほうへ行きますと総合文化会館がオープンして、おかげさまでこの社会資本整備でアクセスの道となる根幹道路が整備されております。もう少し北の方へ行きますと、平成20年、前振興計画で舵を切りなおして、今までは住宅系で進めていたまちづくりでしたが、人口増は厳しい世の中となりますので、アクセスのいい立地条件を活かして工業系も目指すということで、計画に位置づけた高虫西部産業団地が26ha、準備組合が立ち上がりました。権利者の皆様、ほぼ御同意いただいております。あとは業務代行する業者さんを決めたりして、工業系の計画を実現させていきたいと思っております。

そのように、先ほどお話がありましたとおり、今後はこれらの事業が進みますと、サブの点と点のアクセス、バス路線とか人々の新しい流れがでて参ります。その流れに合わせて蓮田市全体が整備されているという状況にあります。

これらの事務を司るほとんどが都市整備部都市計画課です。計画が一番大事ですから、この計画に沿って動き出そうとしているところであります。なかなか一般の方にはわかりにくいところだと思いますけれども、そのような状況でございます。

都市計画審議会委員の皆様方の御意見や御提言を踏まえた蓮田市のまちづくりの根幹が動いておりますので、本当に皆様のおかげだと感謝を申し上げる次第でございます。

長くなりましたけれども、この社会資本整備も今年で5年間が終わりになります。何回もお礼を申し上げますが、何回言っても言い尽くせないほどありがたく思っております。

平成24年にこの制度ができて、平成25年度に蓮田市が手を挙げて、まだ全国的に周知されておりましたが、総合文化会館周辺で進めている一般の社会資本整備関連事業。その後検討した結果、中心市街地のリノベーション事業でもうひとつ手を挙げましたが、幸いその時点では全国で広まっておらず、中心市街地地区と合わせて2つとも蓮田市は採択いただきました。全国で2つもっている自治体はおそらくないのではないかと思います。

おかげさまで国土交通省の予算で、本来は厚生労働省の事業であります保育園、蓮田みぬま保育園が新設できまして、中央保育園が改修できまして、今、東保育園の改修を進めています。これも社会資本整備総合交付金のおかげであります。

今日は、国の補助事業ですから厳しい審査がありますので、事後評価の諮問でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、西口再開発事業の説明には再開発担当の者がまいります。

昨年11月1日、最後に残っておりました共同ビルと公共施設の併設の建物なのでございますけれども工事が始まり、来年10月に完成いたします。資料を見ていただくとおわかりになりますが、このようなものがいよいよ本当に蓮田市にできるのかと思うほど驚きと期待される事業ではないかと思います。

今日は今までの社会資本整備の総括の諮問であります。来年度また新しく社会資本の交付金をいただくべく、関係機関からいろいろと御指導いただいております。担当課で進めているところです。その中で位置づける事業等、まだ公表はされていませんが、来年からの5年間も新たにこの社会資本整備総合交付金を利用して進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

(金子都市計画課長)

ありがとうございました。

<p>資料の確認</p>	<p>ここで、市長につきましては別件がございまして退席させていただくことをお許しいただきたいと存じます。</p> <p>それでは、議事に入る前に、ここでお手元の資料の確認をさせていただきます。事前にお配りした資料は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 お寄せいただいたご意見（蓮田市中心市街地地区） ・資料2 お寄せいただいたご意見（蓮田市閩戸貝塚周辺地区） <p>となっております。資料1、資料2は、委員の皆様から年末年始を通して、前回の会議の結果を踏まえてお寄せいただいた御意見ということでまとめています。それから、本日お配りした資料は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 答申書（原案）（蓮田市中心市街地地区） ・資料2 答申書（原案）（蓮田市閩戸貝塚周辺地区） <p>でございます。また、この後西口再開発課から説明させていただきますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）蓮田駅前西口再開発ビル建設工事（ブランズシティ蓮田） ・広報はすだ1月号 <p>でございます。「広報はすだ」はまちづくりのアンケート結果を23ページに掲載してございます。以上が本日の資料となりますが過不足等ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
<p>定足数の確認</p>	<p>それではここで、委員の出席状況につきまして、御報告申し上げます。</p> <p>本日は、委員の方全員が出席しております。従いまして、蓮田市都市計画審議会条例第8条第2項の規定による定足数に達しておりますので、本日の審議会は成立することを、御報告申し上げます。</p> <p>それでは、これより蓮田市都市計画審議会条例第7条第2項の規定により、奥沢会長に議長になっていただき、議事の進行をお願いしたいと存じます。奥沢会長、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>（奥沢議長）</p> <p>それでは、蓮田市社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）評価委員会の議事に入りたいと思います。</p> <p>諮問事項は、前回に引き続き、「蓮田市中心市街地地区」及び「蓮田市閩戸貝塚周辺地区」の事後評価についてです。</p> <p>2地区ありますが、一括して説明いただきたいと思います。</p>
<p>4 議事 (1) 諮問事項 「社会資本整備総合交付金の事後評価について」 （蓮田市中心市街地地区答申書原案）</p>	<p>【蓮田市中心市街地地区】 （都市計画課）</p> <p>まず、事務局から事前送付させていただいた、次第が表紙のものが、「お寄せいただいたご意見」です。これは、委員の皆様から前回の審議の中でいただきました御意見と、その後3週間の期間で委員の皆様から寄せられた御意見を、項目ごとに記載させていただいたものです。御意見の最後には、どの委員から提出をいただいたものか判るようお名前を記入しています。また、事務局で手を加えていないものとなっております。</p> <p>本日お配りした答申書（原案）は、その御意見を事務局にて文言の整理等をして、作成したものになります。</p> <p>説明は、本日お配りした答申書（原案）を中心に説明させていただきますので、「お寄せいただいたご意見」と見比べながら御覧いただければと思います。</p> <p>「(1) 事後評価手続及び都市再生整備計画の目標の達成状況の確認等の結果について」のうち、まず「方法書」です。方法書については、「妥当である」と記載したいと思います。</p>

次に、「成果の評価」ですが、まず「妥当である」と表記し、その下にいただいた御意見を記載しました。読み上げます。

・現在の西口再開発事業の一番大きな効果は、西口駅前広場の整備だと思う。再開発ビルの建設があまり進んでいない時期に駅周辺のことを聞いてもよい結果は出ないと思う。再開発ビル完成後のアンケートであれば、効果も上がったのではないか。保育園や道路など基幹事業でまだ整備が完了していないものもある。アンケートの実施時期を工夫する必要がある。

・指標1「駅周辺の公的施設や満足度」は達成できなかったが、整備予定の道路等が今後完成すること、また再開発ビルが工事着手し目に見える状態になったことで満足度が期待できる。また、指標2の「子育て世代人口の集積」が達成でき、地域に合わせた保育園が3園完成することで、子育て世帯が住みやすい街につながった。

・指標1「駅周辺の公的施設や満足度」の評価値が、目標値だけではなく従前値より下回ったところが気になる。今後も効果が出るように引き続き努力してほしい。少々目標値が高かったかもしれない。

・指標1「駅周辺の公的施設や満足度」については、目標値を達成することができなかった。効果発現要因を踏まえ、関連施設の整備を進め中長期的には目標を達成できるよう努めること。

と記載したいと思います。

次に「実施過程の評価」について、説明させていただきます。まずは、「妥当である」と記載し、「予定になかった地元の蓮田駅西口地区まちづくり協議会とも連携し、活性化に取り組んでいる」という御意見がございました。

次に「効果発現要因の整理」について説明させていただきます。まずは、「妥当である」と記載し、意見については次のようなものが挙げられました。読み上げます。

・指標1「駅周辺の公共施設や道路に対する満足度」が達成できなかったが、道路2路線の整備と再開発事業の今後の進展が望め、満足度が期待できる。

・効果発現の整理は妥当であり、指標1の目標値を達成できなかった要因分析等も妥当であると思料される。指標1については、要因を踏まえ中長期的には今回の事業による効果が発現されるよう引き続き関連事業の推進に努めること。

と記載させていただきたいと思います。

続きまして、「事後評価原案の公表の妥当性」について、説明させていただきます。市のパブリックコメント制度を活用して2週間、原案を公表し意見を募集しました。まずは、「妥当である」と表記させていただきました。御意見として、

・原案について、広報、web等で公表しており妥当である。

・意見については出されなかったが、市ホームページの閲覧が期間中63件あったことは確認できた。市民の方には事後評価が難しく意見が寄せにくいのかもしれない。工夫が必要と感じる。

と記載しました。

「(1) その他」については、御意見のありました「今回「有識者からの意見聴取」の資料がとても分かりやすく、目標の達成状況の確認がしやすかった」と記載させていただきました。

続きまして、最後に「事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認」についてです。事後評価については、評価委員会として3回御審議頂いていますので、「妥当に進められたと確認した」と記載したいと思います。

(1) については以上です。

引き続き、「(2) 今後のまちづくり等の内容の妥当性」について説明させて

頂きます。まず、「今後のまちづくり方策の作成」についてです。一番多く御意見が集まりました。内容は、まず、「妥当である」と記載しました。御意見としては、

- ・蓮田駅は東西駅前広場、自由通路が整備されている。これらに繋がる駅周辺の道路整備を利便性、快適性、回遊性、景観性を考慮し着実に進めていくことが必要である。

- ・西口再開発エリアは人々が回遊し滞留する拠点である。敷地内のオープンスペースや再開発ビルを活用し、中心市街地としての賑わいを創出することが必要である。

- ・埼玉県と蓮田市が連携して行う県道蓮田鴻巣線歩道整備事業は、駅東口と西口との回遊性の向上と安全で快適な商業空間や歩行空間の形成に寄与する。また、蓮田駅西口第一種市街地再開発事業の進捗とともに、地域の活性化が期待される。今後は、ボトルネックになっているJR宇都宮線第一岩槻踏切の拡幅が課題であり、JR東日本と継続して協議されたい。

- ・今後のまちづくり方策にかかる検討体制をさらに充実させてほしい。現メンバーに「蓮田市定住促進サイト」に関わる課も含めて検討されたい。

- ・商店主や企業主の周辺に、商売に興味がある方々も多くいるので、関係する方々や関係課など相互に意見を集めて、ステップアップする商店会を望む。

- ・市街地再開発事業の推進に伴い、駅周辺に大きなランドマークが誕生することとなる。その市街地再開発事業を踏まえ、エリアマネジメントの概念を導入し駅周辺の持続的なまちづくりを引き続き進めることが望ましい。

などの御意見を頂きました。

「(2) その他」については、御意見をいただきました「今後も交付金を活用して、幹線道路の整備や総合的なまちづくりを進められたい。」と記載させていただきました。

続いて、「今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認」についてですが、「委員会の確認については、妥当であると確認した」と表記したいと思います。

(2) は以上です。

また、全体を通しての「(3) その他」を記載することになりますが、「関係課と調整しながら良い街づくりを進められたい」と記載させていただきました。

蓮田市中心市街地地区の答申書（原案）についての説明は以上です。

(蓮田市閏戸
貝塚周辺地区
答申書原案)

【蓮田市閏戸貝塚周辺地区】

(都市計画課)

続きまして、蓮田市閏戸貝塚周辺地区の答申書（原案）について、説明させていただきます。資料2を御覧ください。

「(1)事後評価手続及び都市再生整備計画の目標の達成状況の確認等の結果」についてのうち、まず、「方法書」です。方法書については、「妥当である」と記載したいと思います。

次に、「成果の評価」です。まずは、「妥当である」と記載させていただき、御意見につきましては、

- ・指標1「公共施設等の利用者数の増加」、指標2「レクリエーション施設へのアクセス環境の満足度」共に目標値を上回る成果であった。市民待望の今までになかった文化・芸術活動の周辺施設が整備され利用しやすい施設が完成出来た。

- ・幹線道路(市道16号線)からアクセス道路(市道48号線)が完成し、北部方面からの充実が評価できる。

- ・設定した目標を達成しており、本事業が有益であったことを読み取ることができる。この効果が持続的に発現され続けるよう施設の維持管理、イベント

等の開催に努めること。

と表記したいと思います。

次に、「実施過程の評価」について説明させていただきます。まずは、「妥当である」と表記させていただきました。御意見としましては、

・事業関連課との調整により一部完了は出来ないものもあったが、実施期間中に大部分完了したのは評価できる。

・当初から設定されていなかったが、公共施設等の持続性担保の上でも住民の協力等は必要不可欠であり、今後は住民参加プロセスやまちづくり協議会等の設置について検討すること。

という御意見がございました。

「効果発現要因の整理」については、「妥当である」と表記したいと思います。

次に「事後評価原案の公表の妥当性」について説明させていただきます。

市のパブリックコメント制度を活用して2週間、原案を公表し意見を募集しました。まず、「妥当である」と記載しまして、「原案について、広報、web等で公表しており妥当である。意見は寄せられなかったものの、閲覧された人数等はカウントされている」と記載しました。

「(1) その他」については、御意見のありました、

・「蓮田市中心市街地地区」とともに、市内2か所で都市再生整備計画事業を実施できたことは評価が高い。

・今回「有識者からの意見聴取」の資料がとても分かりやすく、目標の達成状況の確認がしやすかった。

と記載したいと思います。

続きまして、「事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認」についてです。「妥当に進められたと確認した」と記載したいと思います。

(1) については以上です。

引き続き、「(2) 今後のまちづくり等の内容の妥当性」について、説明させていただきます。

まず、「今後のまちづくり方策の作成」についてです。まずは、「妥当である」と記載しまして、以下の御意見をいただきました。

・総合文化会館、総合市民体育館を中心に、周辺の河川緑地や田園景観を生かして、芸術、文化、スポーツ、レクリエーション、観光、交流の拠点として着実に整備していくことが必要である。

・これからも文化・芸術活動の施設拠点として多くの市民や周辺地域の方にも利用しやすい施設環境や公共機関(バス)、アクセス道路の利便性を期待する。

・今後の課題としている市民組織(ハストピアサポーターズ)との協働について実現すること。

・郊外部の施設であり、公共交通機関でのアクセス向上に向け、サービス密度向上に向け交通事業者等と検討を行うことが望ましい。

・整備された公益施設等の稼働率アップ(持続的担保)に向け検討を行うこと。

などの御意見をいただきました。

「(2) その他」については、「特になし」と記載させていただきました。

続いて、「今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認」については、「委員会の確認については、妥当であると確認した」と表記したいと思います。

また、全体を通しての「(3) その他」として記載することになりますが、いただきました御意見、「地域によっては一度公共交通アクセスポイントであるJR蓮田駅に行き、そこから公共機関(バス)を利用する状況である。他のバス路線との乗り継ぎ場所や他のバス路線の停留所からの歩行者アクセス道路の整備が必要である。」と記載させていただきました。

<p>質疑</p>	<p>なお、前回の評価委員会で、石井委員よりありました『地域交流センター』と『総合文化会館』を併記するのは分かりにくい」という御意見ですが、事務局内でも検討した結果、やはり基幹事業と提案事業のメニュー名を強調するという観点から、原案のとおり「地域交流センター」と「総合文化会館（ハストピア）」とを並列して表記させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>蓮田市閩戸貝塚周辺地区の答申書（原案）についての説明は以上です。御審議のほど、よろしくお願ひいたします。</p> <p>（奥沢議長） ありがとうございます。たくさん意見を出していただきまして、その意見を事務局で整理していただきました。 それでは、この原案について、お気づきの点等をいただきたいと思ひます。</p> <p>（近藤委員） 確認なのですが、駅前周辺の資料のほうにありました、「成果の評価」の指標1の再開発の下、指標2の部分の「保育園が3園完成する」というのは、中央保育園や東保育園や蓮田みぬま保育園のことでよろしいでしょうか。</p> <p>（都市計画課） 3園というのは、中央保育園、東保育園、蓮田みぬま保育園のことでございます。</p> <p>（近藤委員） 決まっています私がこのようなことを言うのはなんですけれども、若いお父さん、お母さんたちが新しいビルに住むというとドアツードアを目指していると思ひます。駅から家、家から駅を理想としていると思うのですが、ビルの中に保育園があるのが理想なのではないかと思ひました。駅近なのに、わざわざ中央保育園に行ってまた駅に戻る、となると私が母親の時には非常にそれを強く感じましたので、これからでもビルの中に保育園ということができないのかということをお伺ひしたいと思ひました。</p> <p>（関根都市整備部長） 再開発事業については、前回お配りした資料の中にありましたように、保育園はできませんけれども、一時預かり所は再開発ビルの中に設置する予定ですのでそれで御理解いただきたいと思ひます。</p> <p>（近藤委員） 一時預かり所の需要が増えた時には、保育園ができますか。一時預かり所と保育園の違いは補助金の関係だと思ひますが、そういうことの変更はこれから考えたりしないのですか。</p> <p>（関根都市整備部長） 保育園は保育園として運営するには厚生労働省の認可をとらなければならないので、一人あたりのスペースが決められておりますし、それ相応の設備が必要となってきますので、このスペースの中で保育園を造ることはできません。 それは再開発事業については、このような計画で作るという説明を後ほどさせていただきますので御理解いただきたいと思ひます。</p>
-----------	--

(奥沢議長)

再開発ビルに若い人が住んでいただけることと思いますけれども、保育園については、再開発ビルに入る人だけでなく中心市街地周辺の方も利用されますし、保育園ではないですけれども再開発ビルには子育て支援をする施設ができるということです。後の説明を聞きたいと思うのですが、いかがでしょうか。ここでは成果の評価ということですので、よろしいでしょうか。

(近藤委員)

はい。

(奥沢議長)

資料1の2枚目、3枚目、右側の一番上、いろいろ再開発事業が進んでいって駅周辺を総合的に管理・運営していくという意味合いだと思うのですが、「エリアマネジメントの概念を導入し、駅周辺の持続的なまちづくりを引き続き進めることが望ましい。」これについて、意見を述べられた方に、もう少し御説明をしていただけるとありがたいのですけれども。

(大沢委員)

東京駅の丸の内側、大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会というのがあります。千代田区がほとんど関与せずに地元住民が維持・管理をしています。公共が少し補助して地元が頑張っている、そこが魅力的だということです。

札幌市の場合は、歩行者道路、札幌市は関与しなくてまちづくり協議会が運営して、イベントなどができるようにしています。札幌市からの補助もなしで、地元で独立会計をしています。その結果1日に7万人の通行があるということで、どんどん変わってきています。

せっかく駅前のポテンシャルも高いので、もし若い方がいれば、そこで地元の方に管理していただくのがいいと思います。

今回、再開発ビルに住んだ人たちの子供たちは多分出て行ってしまふ、大体のパターンが地元に残らず違うところに行ってしまふ、いわゆる第2世代が出て行ってしまふ。第2世代というのは、そこでいなくなっても、その次の世代は帰ってくる。1個飛ばしに帰ってくるというシステムになればよいと思っています。地元で愛着を持ってもらうというシステムがエリアマネジメントというものなので、せっかくなら記載したほうがいいと思っています。30年先に人がいないというのは避けたいところだと思っています。

(関根都市整備部長)

今、大沢委員さんから御提案があったエリアマネジメントにつきましては、西口再開発課の方からまた説明させていただきますが、ブランドシティ蓮田ということで東急が今回、ビルの建設を進めております。実は東急さんからもそのような提案をいただいているところでして、入居される方と地元の方とのコラボレーションをして、交流、また地域の拠点となるような仕掛けを協議中ですので、今後の推移を見守っていただければと思います。実現できるように行政としても支援させていただきたいと考えています。

(奥沢議長)

他にございますか。

(中里委員)

最後のページ、一番上段ですが、2か所の事業というのは、閩戸貝塚周辺地区が先で、中心市街地地区が後からの採択だったのでしょうか。

(関根都市整備部長)

2地区は同時期に採択になっております。ただ、交付金は、中心市街地は採択の年からいただけたのですが、閩戸貝塚周辺地区については採択いただきましたが、実際に交付金をいただいた時期は、1年間遅れたということがあり、実質は4年間分しかいただけなかったという事情があります。中心市街地の方が1年先で、翌年から閩戸貝塚周辺地区が交付金の交付を受けたということです。

(中里委員)

そのところで、順番にこだわるわけじゃないですけども、2箇所目の評価というものを、順番にいつて2箇所目に書かなければいけないのではないかと思います。どちらに表記すべきかということ考えたのですけれども。

(都市計画課)

そちらについては、回答者の方の欄を尊重いたしまして、事務局の方で修正等をしておりません。

(門井委員)

中心市街地地区が採択された後に、新たに閩戸貝塚周辺地区も都市再生整備計画の事業として進められたということは、かなり評価できることを事務局はやったのかなという考え方でした。

国の事業に2つも採択されるなんてことは、蓮田市くらいの規模の市としてはあり得ないくらいのことなのではないのかと思ったためです。

(中里委員)

2つの事業が同時に進行できたことは認識していますし、書くとしたらどちらに書いたほうがいいのかと思いました。

(関根都市整備部長)

補足させていただきますが、中心市街地につきましては、今回で3回目、3期続けての採択でして、閩戸貝塚周辺地区だけは、今回特別に採択されたこともあって、来年以降は中心市街地地区だけでいただく予定です。閩戸貝塚周辺地区で特にその他の部分で書いてあるのは問題ないと考えております。

(奥沢議長)

片方しか書いてないですよ。

2箇所採択になったということで、リノベーション事業にうまく乗れたから採択になったのですが、片方に書いて片方に書いていないということが気になるということはないのでしょうか。2つとも書いた方がよいのではないのでしょうか。

(関根都市整備部長)

両方に書いてもよいと思います。

(奥沢議長)

委員さんの文書で提出した意見と、前回の場で発言された意見を、一度事務局の方でまとめようとしています。今、この場の意見として両方入れた方がよいのではないかということですが、いかがでしょうか。

よくまとめていただいていると思いますが、意見が妥当かどうかをこの委員会で審議するということですから、両方に入れるということでよいと思いますが、よろしいでしょうか。

(複数委員から賛成の声)

(石井委員)

この2つの評価を目で確認する方というのは、両方一度に見るものなのか。見比べますか。

(都市計画課)

それぞれ事業評価シートというものがございますので、独立しております。見る方によって、時期は別々になるかもしれません。

(石井委員)

例えば、公表の妥当性について、一つは「閲覧数は63件」と書いていますが、これは件数が書いてあるのがいいなと思いましたが、一つは「カウントされている」としか書いていないので、なぜ数を出さなかったのかなと思いました。

(都市計画課)

委員さんからいただいた意見をそのまま載せていますので、両方に記載するように修正します。

(石井委員)

そちらは、何件ですか。

(都市計画課)

一緒のページなので、数値は63件で一緒です。

(石井委員)

63件もあれば記載していいと思います。

(都市計画課)

そのようにいたします。

(奥沢議長)

他にございますか。

(藤村委員)

閏戸貝塚周辺地区の「その他」のところ、ターミナル、核を作って、その核から目的地に移動できるようにするのか、それとも直接行きたいところへ行けるようにするのかを確認したいのですが。

(門井委員)

蓮田駅から放射状にバスが走行しているという状況の中で、閏戸方面のバス

停付近は、高虫・上平野方面から来るのと根金方面から来ていますが、上関戸のところこのような形で、ほぼ同じような接点を持ちながら分かれている。高虫方面から乗った人は、そのまま行って途中の停留所で歩いていくか、または逆にバス路線をX字になる様にうまく乗り換えられるところがあれば、自分の好きなルートで目的地まで行くことができるのではないかと思います。

もう一つは駅の西口をバスが通るときやバス停から歩いていく方々にとって道路が狭くて、かなり通りにくい状況の道がありますので、アクセス道路も1つ造ってあげれば、違うバス路線からもパルシー行のバス等乗り入れが期待できます。利用者を増やすのはハブ的なものが1つできればいいのかなという思いと、逆に早く降りて公共施設のほうへ向かうのほうがいいのではないかと思います。

(藤村委員)

それは確かにお客様のニーズがあって、それなりの乗車数があるのであれば、確かにいい方法かと思うのですが、結局各地域それができるほどニーズが足りなくてコスト的に合わないので、1つのハブをターミナルとして1箇所に集めようというまちづくりをしていると思います。今おっしゃっているようなお話だと乗車人数があって、乗換ができる話で、例えば15分待てばバスが来るような感じだと可能なのですが、現状を考えたら1時間待ちとかになってしまうかと思われます。

(齋藤委員)

バスで行った場合、東口発・西口発があって、東口から黒浜経由のバスだと西口発と比べて倍かかる。西口からだとも10分くらい。大きな違いがある。確かに道が狭いということもあります。

一つ、門井委員さんの意見に追加していただきたいのは、シャトルバスの運行が決まって始まっている。このことについて、付け加えていただけたらありがたいと思います。

(奥沢議長)

先ほどの門井委員さんの意見は、バスの乗り継ぎについて検討したほうがいいということをつけ加えたいということですね。

あと、シャトルバスについては、書いていなかったでしょうか。シャトルバスの走行は、始まっていますよね。

(金子都市計画課長)

もう実際に走り始めています。毎日ではないのですが、パルシーやハストピアなどイベントがあって、市外の方の集客が見込めるときは、朝日バスがイベントの時間に合わせて直通バスを運行しています。蓮田駅の東口の乗り場から、通常ですと市役所のほうを回りますが、駅から122号バイパスに出まして、そのまま直通でパルシー、ハストピアのほうに来るということで、だいたい10分で行くことができるということで昨年からは運行しています。

(奥沢議長)

今後のまちづくり方策も、アクセス道路の利便性だとか公共交通機関のバスとか、それだけじゃなくもう少し記述したほうがいい、付け加えたほうがいいということですかね。

採決	<p>(齋藤委員) 市民の方も知らない方が多いと思うので、付け加えるとバス等の事業活動のアピールになると思います。</p> <p>(石井委員) イベントの開催時間に合わせて運行してくれるのは、利便性がいいなとは思っています。</p> <p>(都市計画課) 補足ですが、事後評価シートをお持ちの方は、閏戸貝塚周辺地区の8ページに「添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況」がありますが、「特定のイベント開催時には、バス事業者の協力により、バスの通常運行以外に臨時シャトルバスが運行し、各施設利用者の利便性が向上している。」と記載しています。これを踏まえまして、事後評価原案のほうにもシャトルバスの運行について追加したいと思います。</p> <p>(奥沢議長) 分かりました。 今、出されている委員さんの意見をふまえて、文章を追加・修正するということがよろしいでしょうか。他にございますか。</p> <p>(大沢委員) 最後に同じ用語で複数の表現があるようなので、用語の統一をしたほうがいいのではないかと思います。「まちづくり」はひらがなの表記で統一するとか、公共機関と公共交通機関、再開発を再開発事業・市街地再開発事業などありますので、事務局に一任する形になりますが、統一したほうがよろしいかと思えます。</p> <p>(奥沢議長) 全体として手続きは丁寧に行っていると思いますが、今、お話しがあったような用語の統一は必要だと思います。後ほど、事務局と相談し、細かい修正については、後日お配りするということがよろしいでしょうか。</p> <p>(よいとの声) それでは、採決いたします。 先ほど、御意見があった点については、この原案を修正するということがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしとの声) それでは、市長へは「原案を一部修正して成案」として、答申したいと思います。皆様には修正した最終的なものを事務局から発送させていただきます。 以上をもちまして、蓮田市社会資本整備総合交付金（都市再生計画事業）評価委員会を終了いたします。</p> <p>【蓮田市都市計画審議会】 (奥沢議長) 次に報告事項がございますが、再開発担当より説明をしていただきます。説</p>
----	---

<p>報告事項（蓮田駅西口第一種市街地再開発事業について）</p>	<p>明者をお呼びしますので、しばらくお待ちください。</p> <p>（熊谷西口再開発課長、出席）</p> <p>それでは、会議を再開いたします。 本日の報告事項は、「蓮田駅西口第一種市街地再開発事業について」です。 よろしくをお願いします。</p> <p>（熊谷西口再開発課長） 西口再開発課の熊谷と申します。よろしくをお願いします。 私からは、現在進行中の「蓮田駅西口再開発事業」の進捗状況等について、報告・説明いたします。本日は事前にお配りしたA3の資料書類に基づいて説明したいと思っております。また今月の広報で再開発事業の特集を掲載しておりますので、かなり重複いたしますが、ご容赦願います。 再開発事業は、「再開発ビル・駅前広場・西口通線などの幹線道路」の3つの整備を大きな柱として進めております。駅前広場と道路は平成25年3月までに完成し、残る整備は「再開発ビル」という状況でございました。この再開発事業を進めるには、大きな手続きポイント等が4つありました。それでは、事前に配布いたしました、A3の資料を御覧ください。 まず経緯と沿革についてですが、1ページ目左側です。 ①再開発事業の概要を定める「都市計画決定」、最初が昭和60年 ②再開発事業の具体的な整備計画を定める「事業計画」、最初が平成12年沿革の右側ですが、 ③事業計画に基づき、関係権利者の従前資産と従後資産がどのようになるかという、「権利変換計画」が平成29年6月 ④市に代わって再開発ビルを建築する「特定建築者、東急不動産」の決定が、約1年前の平成30年2月でございました。その後、3月に「基本協定と敷地譲渡契約の締結」してから6ヶ月、ビルの詳細設計や手続きを進め、昨年10月末には「施工協定を締結」し、11月から工事に着工いたしました。 デベロッパー、いわゆる特定建築者は東急不動産でございますが、実際に施工する会社は、「長谷工コーポレーション」です。ビルの工事完成期限は、2020年10月末までとしております。その後、建物の登記等やビルの運営シミュレーションもありますので、公益施設部分のオープンは、次年度の切換え時期ではないかと思われれます。スケジュール概要は以上でございます。 次に2ページを御覧ください。 左側、「区域図」ですが、再開発事業エリアは、赤枠で約1.8haありますが、ビルの敷地としては黄色い部分です。右側、「建築概要」ですが、「敷地面積は6,821.11㎡」「建築面積は4,177.89㎡」「延床面積は21,741.49㎡」「用途は店舗、診療所、住宅、公益施設及び駐車施設」です。地上14階建、駐車台数は223台、住宅は168戸でございます。外観イメージは、駅方面から見たものとなります。 次の3ページを御覧ください。 1階平面図です。左側が駅前広場となります。建物の左側中央、青色部分は、公益施設部分で2階へ上がるホールとなります。このホールは、駅前広場からだけでなく、駐車場からも出入りできるようになっております。2階へはエレベーターや階段のほか、エスカレーターも計画しております。このホールを挟んで、上の部分肌色部分が診療所、下の部分が店舗となります。黄色い部分はマンション関係で、エントランスやラウンジ、設備室関係となります。中央の緑色部分は、立体駐車場で、3層4段223台です。223台の内訳ですが、市</p>
-----------------------------------	---

や設備棟分で102台、マンション分で121台です。3層4段とは、3階建てで屋上にも駐車できるというイメージで結構です。外部での特徴として、駅前広場から踏切方面へ抜ける歩行者用通路を設けます。マンション住民や店舗持主等との共同敷地ですので、本来、市の考えだけで、不特定多数の方が自由に出入りさせることはできませんが、市の再開発という公共性が高いものであることから、市民の方への利便性に配慮していただいたものです。

次の4ページをお願いします。

2階平面図です。左側、青色部分が公益施設です。中央部分にエスカレーターで上がっていただきます。エスカレーターはガラスの手摺で囲いますので、1.1mか1.2mの高さとなりまして、市民ギャラリーを含め、一体的な開放性のある空間となります。ギャラリーとしてだけでなく、テーブルを囲んでちょっとした打合せやサークル会議、待ち合わせ等々、フリーに利用していただければと思います。子育て支援エリアでは、妊娠期から子育て期までの総合的な相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」業務を中心として、親子が気軽に相互交流できる「子育て支援交流スペース」、一時的な保育に対応する「一時預かり」のスペースを計画しております。

また、会議や研修会・講習会など市民の方が公民館的に利用できる、「会議室」が3室、料理教室などを行うことのできる調理室（クッキングスタジオ）もあります。行政窓口では、現在の駅西口連絡所での業務はもちろんのこと、更に利便性アップのため、現在、可能な業務を詰めている最中でございます。黄色い部分はマンション住戸部分です。中央の緑色は立体駐車場で、途中からゲートがあり、マンション用になります。この駐車場からは直接、公共施設へ入ることもできます。

次の5ページをお願いします。

3階平面図です。左側、白い部分は、公益施設の屋上となります。トレンチピットは、マンションの上層階から下りてくる配管スペースです。右側、黄色い部分はマンション住戸です。中央、緑色部分は同じく駐車場です。

次の6ページをお願いします。

4階から14階までは同じ平面図で、マンションだけとなります。駐車場は、3層4段で、屋上で折り返しとなります。

次の7ページをお願いします。

東側立面図です。JR側から見た図です。左側に薄く縦線が入っているのは低層階で、1階は店舗、2階は公益施設ということになります。

次の8ページをお願いします。

南側立面図です。駅前広場側から見た図です。

次の9ページをお願いします。

現在行っている工事現場での図です。車両出入りのメインは、街路1号線からとなりますが、施工状況によっては、駅前広場あるいは踏切近くからの出入りもあります。

最後の10ページは、工程表です。

今年度は基礎工事、来年度は躯体・内装工事、最後の2020年度は、引き続き内装や駐車場・外構工事となります。10月末を目標に進めていくこととなります。現在は、1月の中旬ちょっと過ぎにおいては杭工事が終わり、基礎の掘削工事に入っているところです。恐らく今年度末には基礎部分の鉄筋関係の工事を進捗しているのかなというところです。

雑駁ですが、再開発ビルを中心としました説明・報告は以上でございます。

(奥沢議長)

ありがとうございました。非常にわかりやすく説明していただきました。

先ほど、事後評価で触れてきました部分で、子育て支援エリアについての機能について、もう少し説明していただけないでしょうか。

(熊谷西口再開発課長)

メインとなるところは、「子育て世代包括支援センター」で、妊娠期から子育て期まですべてオールラウンドで相談できる、コンシェルジュのような子育ての総合案内の施設となっています。その他には一時的な仕事、親御さんの状況で一時的に預かってほしい、買い物なども含めまして一時的な保育の機能の施設となっています。また、子育ての情報交換や子供を遊ばせるためのスペースがあります。相談室では、プライバシーに配慮した部分として、防音の機能をアップさせました。

トイレも気を遣いまして、お子様も使えるようなトイレの仕様となっております。ここは駅前として便利などころでもございますので、子育て関係の業務のメインがこちらにいつてしまうような、そんな便利な建物になるのかなと思っております。

(近藤委員)

大変立派なビルでこれからいろいろなことができそうだということを伺ったのですが、先ほど、子育ての関係で保育園の関係を質問しました。ここに住まれる方はきっと若い世代だと思えるのですけれども、皆さんもそのような人口増の狙いがあるかと思えます。自分が住んでいた駅近のマンションから、保育園が遠くて、せっかく家と駅が近いのに、そこから保育園に送り迎えすることが大変でした。その利便性ということで、このビルの中に保育園ができませんかということをお伺いしました。先ほどこのビルにはいろいろな理由があってここにはできませんよということで、周りにある3つの保育園に通うということでした。これから先、例えばすぐそばの空き地に新しい保育園を建てるとか、駅前保育園などが出来たらいいのかなと思いました。近くにそのような予定はないのでしょうか。このエリアではもう一時保育だけ、ということでしょうか。

せっかくの駅前という条件で、若いお母さん方が住むと思うのです。東京方面に仕事に行く方に入っていただくために造ったのではないかと思います。若い方のためにレベルアップができないかなと願いながらそのようなお話をしました。

(熊谷西口再開発課長)

近藤委員からお話のありました件については、実はよく言われます。再開発についてはこのような形で進めさせていただいて、保育園については全体的な保育園の整備という考え方がございますので、保育園の担当の方で全体的に考えていきたいということです。

現在、駅周辺の保育園ということについては整備されているということですので、新たな保育園ということであれば、その必要性について検討していかなければならないと思います。

(関根都市整備部長)

追加ですが、子育て支援エリアには、ファミリーサポートセンターなども入る予定になっておりまして、一時預かりなども含めてここですべて相談できる、一括して子育て支援機能を持たせる予定です。保育園をどう整備するかについては、また別の議会の中で議論がありまして、私自身子育て支援政策担当をしていたことがあるのですが、蓮田市の方針としては「蓮田の子育ては土の上で

広々とした自然を生かして保育するのを大事にしたい」としています。部屋の中だけで子育てをするのではなく、土の上で保育がしたいという保育士さんの強い願いのもとで、土の園庭などを整備しています。そのため部屋の中だけでの子育てという考えはありませんでした。

(近藤委員)

それはそういうことだと思います。分かりました。

(奥沢議長)

せっかく西口再開発課に来ていただいているので、駅周辺の賑わいの創出についてもお話しいただけますか。

(熊谷西口再開発課長)

賑わいというと抽象的なのですが、再開発事業の目的のひとつでもあると思います。

ビルが建ってハード面の処理で賑わいができるかというところではないと思います。再開発ビルが建つことによって、マンションに住まわれる方168世帯、公益施設を利用する方、子育てについてこられる方もいらっしゃるでしょうし、行政に用事がある方、公民館的に使われる方、1階には診療所や店舗が入りますので、こういった様々な方にビルを利用していただく、ビルを中心に新たな人の流れが生じるとこういったことが賑わいの一因ということになっていくと思います。

今後は、このようなビルが建つことで触発されて、周りの民間企業も影響を受けて活性化になると考えています。どこの企業かといったことは申し上げられませんが、このようなことに結びつくのかなと考えております。

また、ハード面以外にもマンパワーの方も賑わいの大きな一因になると考えています。例えばマンション住民の方だとか、店舗の関係者の方だとか、商工会等も一緒になって、地域一体となってコミュニティを形成することが大事だと思っています。この度、東急不動産の方でも単にマンション販売ということだけではなく地域コミュニティの形成についても一緒に考えていただけると聞いております。

このような地域に住まわれるすべての方々が活性化していこうということで初めて西口地域の賑わいにつながると考えております。賑わいは市だけではなく、すべての方が一体となって進めていくべきと考えます。

今後、賑わいについて御協力をお願いすることもあるかもしれませんが、よろしく願いいたします。

(近藤委員)

再開発ビルを建ててどのくらい的人数が増えるとか、どのくらいの人動きがあるなど想定はありますか。それと蓮田市内だけではなく、駅ですから市外から来ていただけるようなものがあるのかなと思います。蓮田市だけでは固定された人数ですから、白岡や菖蒲、東京からも外から来る方もここで何かをやっているというお知らせをして発展、活性化できる流れを考えていただけるといいのではないかなと思います。

(熊谷西口再開発課長)

人数の話ですが、168世帯ですので、人数としてははっきりとは言えませんが400～500人くらいの動きはあるのかなと思います。またPRについては、単に建物だけだとなかなか難しいかなと思います。他のゾーン、これは

賑わいにかかる話になりますが、地域一体としたイベントがもし可能であれば人を呼び込む集客にもつながると思います。

(奥沢議長)

分譲に絡む予定は、決まっていますか。

(熊谷西口再開発課長)

市民の方からマンションの価格はいくらかというお問い合わせをよくいただいております。

東急不動産で分譲していくので、価格も東急不動産が決めていく形となりますが、間際まで検討して決めるということです。東急不動産にとっては、売れ残っては困るということもありますので、バランスを見ながら判断します。アンケートを受け取られているご家庭もあるかもしれませんが、そのようなアンケートの結果や分譲マンションの希望者の状況を見ながら最終的に決めていくということでした。

(奥沢議長)

モデルルームや販売の情報は、いつ頃出のでしょうか。

(熊谷西口再開発課長)

販売の情報は、春過ぎに出る予定です。また、今モデルルームを造っております。モデルルームのオープンの際には、金額を示してもらえるとと思いますがはっきりはわかりません。

販売するときに金額を示さないということはないと思いますので、そのころには分かると思います。

(奥沢議長)

私も蓮田以北から宇都宮線を利用して職場に通勤していましたが、ここまで来るのに結構時間がかかりました。この辺に住宅を持てればいなとつくづく思っていました。蓮田以北から鉄道を使用している人たちに宣伝すると効果があるかなと思いました。

(熊谷西口再開発課長)

そのようなことも聞いたことがあります。ただ電車の中吊りは、広告費が大変で高いそうです。しかも広告する区間もどこからどこまでなのかとか宣伝に幅があるので、いろいろと検討しているそうです。

(奥沢議長)

他に皆さんから御意見・御質問等ございますか。よろしいでしょうか。

続いて、川島地区で進められている「蓮田サービスエリア（新上り線）の進捗状況について」報告があると伺っています。説明をお願いします。

報告事項

（蓮田サービスエリア（新上り線）について）

(関根都市整備部長)

それでは、蓮田サービスエリア（新上り線）の進捗状況について、説明させていただきます。

今日は、航空写真のみ、前回より少し新しいものになっております。現在はこの航空写真よりさらに進んでおまして、ガソリンスタンドや商業施設も鉄骨組みは終わっております。この面積は8.7haございまして、駐車場につ

いては航空写真を見ていただきまして、舗装が進んでいるところは小型の駐車マスができます。宇都宮の方から来て左手の方は、小型、奥の東京よりは大型車の駐車マスになっています。左側のほうに写真がありますが、調整池が左と右に2か所できまして、左手の方の調整池は深さが約5m、容量は1万9千㎡ということで、かなりの雨水を貯留できる調整池となっております。もともと湛水していたところがございますので、湛水容量を考慮した調整池となっております。トイレについては通常のパーキングやSAは1箇所ですが、ここは商業施設をはさんで左右両側に設置されます。トイレ数としては日本最大級になると聞いています。

下手、手前に外部利用の駐車場、市民の方が御利用いただける駐車場を整備する予定で、約100台となっていて、市民の方がお買い物をする時に使っていただけます。

商業展開としては、ネクスコ東日本のサービスエリアで初めて生鮮三品（肉、野菜、魚）を扱ういわゆるスーパーが出来る予定です。そのための安全対策として、今は外周道路に横断歩道等がないのですが、警察との協議がおおむね整いまして、横断歩道等を設置して、周辺の市民の方がご利用いただけるような安全対策を検討しています。従業員も200名を超える人数となりますので、駅からこちらの施設に来るようなバス便が確保できるような仕組みを考えているところです。

完成については、ネクスコ東日本は3か月前にならないとアナウンスをしないということです。

スマートインターチェンジは、サービスエリアの南側に造る計画をしております。現時点では、準備段階調査ということで、市では4回準備会を開催しています。更に準備会を開催した後、地区協議会に移行して連結許可申請するという予定です。以上です。

（石井委員）

スマートインターの設置時期は、延びたと最初に伺ったのですが、新サービスエリアが完成したら、今ある上りのサービスエリア、スマートインターがどうなっていくのか伺えますか。

（関根都市整備部長）

構想ですが、今のサービスエリアは橋を造るとともに、下り線専用のサービスエリアになる予定です。

スマートインターチェンジですが、今ある宇都宮方面の入口と東京方面の出口はいったん閉じまして、宇都宮方面の入口と東京方面の出口の整備をする予定です。車種ですが、現在は普通車しか使えないものを、大型観光バス車長12mまで使えるスマートインターチェンジにする構想のもとに協議をしています。

（金子都市計画課長）

今、たぶん石井委員が聞かれているのは、今のスマートインターがどうなるのだろうということと、上下線のスマートインターのオープンにタイム差があるのではないかとということですが、新サービスエリアに接続するスマートインターが供用されるまでは、今のスマートインターをそのまま残して、供用する時に上り線の入口を入れ替えます。それと同時に今のサービスエリアの上りの入口は閉める予定です。先ほどお話ししたように下り線を改修していきますが、改修しながらも下り線の出入口のスマートインターが供用開始になるまでは、今の下り線出口のスマートインターは利用できる予定です。

(石井委員)
では長くかかりますね。

(関根都市整備部長)
たぶん5年以上はかかるかと思います。

(石井委員)
橋をかけるのが大変ですね。

(関根都市整備部長)
そうですね。橋を架けるときは、高速道路の交通を止めます。ネクスコは基本的に1晩しか止めないということなので、夕方から翌朝までに橋を2本架けるということになります。

(石井委員)
1本ずつではなく2本一緒に架けるのですか。

(関根都市整備部長)
基本的には、1晩しか通行止めにしなないとのことです。本当に1晩でできるかどうかということもありますが、それと同時に白岡市が白岡市役所付近にも橋を1本架ける予定があると伺っています。同じ時期に橋を架けるための日本に何台もないクレーンで架設しなければならないですし、何本も架けられるだけの人と資材を集めることが出来るのかということもあります。蓮田もどこかに架けられないかという話もありますので、実際どのように施行するかは、これから検討することになります。

(藤村委員)
白岡市は、よく予算がありましたね。地元負担で事業行いますよね。

(関根都市整備部長)
もう10年以上も前からの構想です。都市計画道路なので、国費も出ると思っています。

(齋藤委員)
外部駐車場の整備は蓮田市の資金なののでしょうか。それともネクスコに出していただけるのでしょうか。

(関根都市整備部長)
今日お配りした資料にある、外部駐車場はネクスコの費用でやっていただけます。このあたりの約1,000㎡弱の負担については、蓮田市の方で負担をしなければいけないので、3月定例会で予算の承認をお願いしたいと考えています。

(奥沢議長)
ありがとうございました。
時間の関係もありますので、以上で説明を終わらせていただきます。
続きまして、次第にはありませんが、今後の予定など事務局から報告いただく事項はございますか。

<p>次回の予定 について</p>	<p>(都市計画課) 今年度の都市計画審議会は、本日が最後の予定です。 また、4月以降の来年度につきましては、案件を2つほど予定しております。 第1に、市のまちづくりの上位計画である都市計画マスタープランの改定や立地適正化計画の策定に係る審議でございます。これは、2か年の継続事業で進める予定です。 第2に、県道蓮田鴻巣線の歩道整備事業に伴う用途地域及び蓮田駅東口周辺地区地区計画の変更を検討しております。 以上、よろしくお願いいたします。</p> <p>(奥沢議長) 皆さん、全体を通して何かございますか。よろしいですか。 以上をもって、本日の議事につきましては、すべて終了とさせていただきます。議長、御協力ありがとうございました。</p> <p>(金子都市計画課長) 奥沢会長、ありがとうございました。 本日閉会となりますが、閉会の挨拶は、本澤副会長より御挨拶をお願い申し上げます。</p>
<p>6 閉会挨拶</p>	<p>(本澤副会長) 平成30年度第3回蓮田市都市計画審議会を以上で閉会いたします。 ありがとうございました。</p>